



仙台市リサイクルシンボルマーク「メビウスちゃん」



編集・発行 仙台市環境局家庭ごみ減量課  
電話 214-8226

### あなたとわたしの声をつなぐクリーン仙台推進員のコミュニケーション情報誌

こんにちは推進員さん.....	1P
クリーン仙台推進員学習会・ごみ分別研修会を開催しました.....	2P
仙台市環境局からのお知らせ.....	3P
秋から環境局の新しい事業が始まります.....	4P



日々の活動として、ごみ出しに来られた方に、分け方をお伝えし、缶・びん・ペット



また取材の最後には、今後環境事業所と作戦を練りながら、できるだけ自分たちの力で地域をきれいにしていきます、この力強い言葉

【泉区】山の寺第二町内会

こんにちは推進員さん  
組織力でまち美化

山の寺第二町内会は泉区北東部に位置し、泉ヶ岳が一望できる見晴らしのよい閑静な住宅地です。戸建て、集合住宅世帯がほぼ半数ずつの約800世帯が暮らししており、推進員は9名で活動されています。

取材で訪問した日は、定例の集積所パトロールの日で、8名の推進員の皆さんが3班に分かれ、町内13か所の集積所についてルール違反の廃棄物が出されていないか、排出状況の確認を行っており、この活動に同行した後にお話を伺いました。

推進員が委嘱され、活動を始めて10年程になりますが、当初は排出曜日が守られないことや、粗大ごみが出されることもあったため、泉環境事業所と協力し出前講座を開催して、住民へごみ出しルールの周知を図ったほか、自分たちも学習会や分別研修会に参加して自己研鑽に努めたことで

トボトルの収集日にはラベル剥がしやペットボトル潰しを行っています。

町内会とも連携し、前述の見回り時の情報を役員会で取り上げ、町内会だよりで正しい排出ルールを周知するなど、集積所の課題を推進員だけで解決するのではなく、町内会と協働して地域全体で解決しておられます。

また、町内会総会の資料に推進員名簿を掲載するようにしたところ、活動が地域に認知されるようになり、それとともにごみ出しのマナーも良くなってきたとのことでした。

「集積所は町内会行事の案内を掲示したり、ごみを出しに来た方と世間話をするなどコミュニケーションの場にもなっています。だから、いつもきれいにしないとね」と誇りに話されている様子が印象的でした。

### 秋から環境局の新しい事業が始まります

仙台市では更なるごみの減量・リサイクルの推進やごみの排出が困難な方への支援として新たな事業を開始します。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

**① 剪定枝戸別収集**

ご自宅の庭木の剪定で出た枝などを、粗大ごみと同様に受付センターへ電話でお申込みいただき、戸別収集します。(数量制限なし、無料)

収集した剪定枝は、再資源化施設へ運ばれた後にチップ化され、工場のボイラー燃料やマルチング材等としてリサイクルされます。

■収集の対象となるもの

① 枝：太さ1cm以上、束ねた直径が30cm未満、長さ80cm未満に揃えたもの

② 幹：太さ50cm未満(50cm以上は半分に切る。根は除く)、枝をは

らい長さ60cm未満に切断したものを

■申込から収集までの流れ

① 粗大ごみ受付センター(716-5301)へお申込み

※インターネットでの申込みはできません

② 受付番号と収集日をご案内します

③ 受付番号を記入したメモ紙等を全ての束、幹に貼り付けて下さい

④ 収集日の朝8時半までに指定された場所へ出して下さい

■受付期間 9月3日(月)～11月30日(金)

■問廃棄物企画課 214-82230

**② 紙容器拠点回収**

市民センター等の公共施設に設置している資源回収庫に、これまで再生紙としてリサイクルできなかったヨーグルト容器等のコーナーになります。(無料)

紙マークが付いた紙が対象です。(ただし、洗剤や線香の箱等のおいがついた紙は対象外です。)汚れを軽く水ですすぎ乾かしてから雑がみと一緒に紙袋へ入れて出して下さい。

**汚れは水ですすいでください**

**紙**

ジュースなどの箱、紙カップ、紙製のふた、紙箱、台紙、包装紙

■期間 9月1日～平成31年3月31日

■問廃棄物企画課 214-82230

**③ 高齢者等のごみ出し支援活動を行う団体に奨励金を交付します**

■平成30年10月1日(月)より、ごみ出しが困難な一人暮らしの高齢の方や障害のある方などの世帯に

して、ごみ出し支援活動を行っている団体へ奨励金を交付します。

■申請できる団体は町内会や老人クラブ、ボランティア団体などの非営利活動を行う団体です。

■ごみ出し支援活動とは、高齢や障害などにより、ごみ出しが困難な世帯の玄関口から、その世帯が出すことになっているごみ集積所まで、ごみを運ぶ活動です。この事業では、奨励金の交付について一定の要件がありますので、ご注意願います。

■ごみ出し支援活動1回あたり140円/世帯、を交付します。平成30年度は1団体への交付上限金額は48,000円です。

■団体の登録申請・奨励金の交付申請は、随時受け付けております。

■事業の詳細や手続きの方法などは、家庭ごみ減量課や各区の環境事業所で配布している案内チラシや仙台市ホームページをご確認ください。

■申・問 家庭ごみ減量課 214-82226

### 研修レポート クリーン仙台推進員学習会・ ごみ分別研修会を開催しまし た

#### ●グループ学習会「初任者研修」 を開催しました。

初めて推進員に委嘱された方を対象として、6・7月に初任者研修を開催しました。  
地域社会デザイン・ラボ 代表の遠藤 智栄氏を講師にお迎えし、2日間に渡り、推進員として活動するための基礎知識や活動のノウハウを学んでいただきました。

1日目は推進員制度の概要や活動のポイント、地域の方から協力を得るコツなどについて講義を受け、家庭ごみが増える時期や原因と解決方法については、グループで議論がなされました。

2日目は推進員として長年活躍されている、太白区向山経ヶ峯親交会の牧野 恵子さんをお迎えして、活動事例紹介と質疑がなされました。牧野さんからは、  
○初めの頃は排出曜日や指定ごみ

袋のルールが守られているかなど、集積所の見回りから始めたこと  
○地域の方から挨拶をされるようになり、仲が良くなるに従って協力を得られるようになったこと  
○地域で集団資源回収に取り組んでいること  
○推進員活動を通じて地域の方から町内の様々な事で頼られるようになったこと  
などの事例をお話しいただきました。

参加された方々は、牧野さんへいろいろと質問をされており、また、グループワークでは、自分たちの住んでいる地域の課題解決に積極的に意見の交換をされました。



#### ●スキルアップ研修「対人スキル編」を開催しました

地域の皆さまにごみの出し方などのルールを気持ち良く守っていただくための話し方や共感してもらえらる話し方の学習会を6月5・6日の2日間で、102名の方に出席いただき開催いたしました。  
講師に日本航空客室乗務員の経験を持つ合同会社エデュウス藤田の藤田 素子氏をお迎えし、お話しいただきました。

講義では  
・自分の思いを伝える分かりやすい話し方や聴き上手になることで相手の不満や怒りを解消し、信頼関係が構築できる  
・質問力を磨くことで、相手の潜在的なニーズを確認することができ  
などの他に、発声練習、身だしなみ等、人と関わるうえで必要なスキルの確認も行われました。  
出席者からは、「まるで演技指導を受けているような研修でした」

「具体例を織り交ぜての説明は分かりやすかった」との感想や、「地域の美化活動を行ううえで積極的に地域の方とコミュニケーションを取っていきます」などの意見が聞かれました。



#### ●ごみ分別研修会を開催しました

6月25日から7月6日にかけて、各環境事業所主催のごみ分別研修会を開催いたしました。

研修会では、ごみの模型を使って、実際に参加者に分別を体験いただいたほか、清掃工場でのごみの混入検査の見学や環境事業所の活用方法の紹介、ごみに関するクイズ大会なども行われました。地域の方々のグループワークでは、日頃疑問に感じていることなどを話題にして問題解決に関する意見交換を行いました。

### 仙台市環境局 かみのみ知らせ

#### ◆食品ロス記録調査市民モニター 募集

昨年11月に仙台市が実施した調査では、家庭から出る生ごみのうち約3割が食品ロスという結果でした。そこで、環境局では各家庭から出される食品ロスの発生要因を調べるため、日記形式で食品ロス発生量を4週間記録して報告いただく市民モニターを募集します(各区80世帯程度、多数の場合抽選 当選者には10月12日頃調査票が届きます)。

■謝礼 クオカード1,000円分(1世帯当たり)

■調査期間 10月15日(月)～11月11日(日)

■申込方法 9月18日(火)までに必着 FAX又は、Eメールに住所、氏名、電話番号、年齢、同居者の人数と子ども・高齢者の有無、食品ロスの発生頻度(よくある・たまにある・ほとんどない)を記入。

■問・申 家庭ごみ減量課 電話214-8229 FAX214-8277 Eメールkan007220@city.sendai.jp

#### ◆秋のアレマキャンペーン

ポイ捨てを見て「アレマ」と感じた皆さんが、「アレマ隊」として気軽に清掃活動に参加できる「アレマキャンペーン」を実施します。

実施期間 10月17日(水)～11月4日(日)

(1)全市一斉「ポイ捨てごみ」調査・清掃活動

ポイ捨てごみの調査・清掃活動を行い、その結果をアレマレポートに記入してお送りください。申込者には参加キット(ごみ袋・アレマレポート・小学生以下にはミニ缶バッチ)をお送りします。

(2)仙台中央地区 秋の「ポイ捨て」防止キャンペーン

■日時 10月17日(水) 14時～15時

■内容 1ポイ捨て防止を通行人へ呼び掛けるパレードと清掃活動

■集合場所 1(1)アエル北側広場(2)勾当台公園いこいのゾーンのいずれか

■集合時間 1いずれも13時50分

■持ち物 1軍手

■申込方法 団体(10人以上)で参加する場合は電話で10月11日(木)までに。個人で参加する場合は直接集合場所へ  
■問・申 家庭ごみ減量課214-8250

#### ◆せんだい環境学習館・たまきざんサロン「サロン講座のご案内」

(1)「仙台市とクマ」クマについて学び被害を未然に防ごう」

■日時 9月15日(土) 14時～15時

■内容 近年、人里周辺に出没するクマが問題になっており、市内でも多くの目撃情報が寄せられています。クマの生態を学び、被害を防ぐ方法を学びましょう。

■講師 (株)地域環境計画 小野晋氏

■定員 40人 ※先着順

■申込み方法 電話、FAX、メールにて氏名、電話番号、参加人数をお知らせください。

■問・申 環境共生課 電話214-0013 FAX214-0580

Eメールkan007130@city.sendai.jp

(2)「暮らしに活かそう 製本の手わざ」

■日時

①10月13日(土)「和綴りで造るノート」

②10月27日(土)「薄表紙の構造と造り方」

③11月10日(土)「厚表紙の構造と造り方」

各13時半～16時

■内容 和・洋製本の初歩を学びます

■講師 和綴り製本作家 永澤裕子氏

■定員 中学生以上、1冊単位の長さ

を正確に測れる方/各回15人

#### 環境事業所の電話番号

青葉環境事業所	277-5300
宮城野環境事業所	236-5300
若林環境事業所	289-2051
太白環境事業所	248-5300
泉環境事業所	773-5300

※抽選(連続で受講が可能な方優先、当選者にはのみ10/6日まで連絡)  
■費用 ①500円 ②・③1000円  
■申込み方法 はがき、FAX、メールに講座名、氏名、住所、電話番号、年齢を記入して10月2日(火)まで。  
■問・申 たまきざんサロン  
〒980-0845 仙台市青葉区荒巻 字青葉468-1 電話214-1233 FAX393-5038  
Eメール tamaki3salon@city.sendai.jp